

比例定数削減は、消費税増税の突破口 施政方針演説・代表質問で浮き彫りに

通常国会が開会しました。菅首相は施政方針演説で、6月までに消費税を含む税制抜本改革の基本方針を示すとし、その脈絡で「議員定数削減など自ら身を切る覚悟を」と強調しました。また、自民党の代表質問に答え、「増税前に総選挙で国民に信を問う」とも答弁しました。比例定数削減で増税に反対する議員を国会から排除し、「身を削った」として、国民世論をねじ伏せて増税を押し付け、強行する姿勢は断じて許されません。

他方、菅首相への国民感情は、いまや、「憤り」を通り越し「憎しみ」になっていると産経新聞(1・14)が報じています。新年早々、「消費税増税に政治生命をかける」と言い放ったTV朝日の報道ステーションの視聴率は6・9%。直前の番組は10%、直後の番組は11・2%。首相が画面に出た瞬間にチャンネルを変えた視聴者が多数いたことをうかがわせる数字だと伝えています。

それは、菅政権が、米・財界を中心とする政治の強力な推進者になっているからに他なりません。国民の願い、切実な要求を阻む比例定数削減阻止の世論と運動を飛躍させなければなりません

一月二四日、国会開会日院内集会には一〇名が参加しました。日本共産党の市田書記局長、社会民主党の山内国民運動局長が挨拶、出席議員の決意表明の後、各団体代表が発言しました。憲法会議の柴田代表幹事は「消費税増税と比例定数削減はワンパッケージ。法案提出阻止のたたかいに全力を」と訴え、埼玉憲法会議の渡辺事務局次長は「年末に地元出身議員に総当りしたが議員の共感を得た」と発言、国公労連の岩崎さんが地域主権改革の問題性を厳しく指摘しました。



生かそう憲法・比例定数削減許さず!
五・三実委会が院内集会

2月17日に学習決起集会

上脇博之氏(神戸学院大教授)が講演

- 2011年2月17日 14時~16時(予定) ★署名をお持ちください★
- 衆議院第2議員会館 多目的会議室
- 国会報告・講演・各団体からの報告・交流・議員要請行動

比例定数削減反対
九団体の行動